



朝晩の寒さに「ついこの前までの暑さはどこに…」と、季節の移ろう早さに戸惑う今日この頃です。学校は学校行事や部活動等、生徒たちにとって大切な日常が取り戻されてきました。また、3年生にとっては、大切な進路選択の時を迎えました。これまで同様、うがい・手洗い等をこまめに行い、体調を万全に整えることが、一中生の大切な日常を継続することにつながります。

## 令和3年度生徒会役員が活動を開始しました

新たな生徒会役員を決める生徒会選挙が10月6日の立会演説会后、タブレットを用いて行われました。立候補した生徒とその責任者の生徒は、選挙に向け登校時刻に合わせて正門前で投票を呼びかける姿がありました。また、立会演説会での発表内容は、一中のこれまでの伝統を引継ぎ、さらによりよいものにしていきたいという強い思いが、全員の言葉に込められていました。

生徒会役員に認証された9名は、早速挨拶運動に取り組むなど、公約の実現に向け活動が開始されました。生徒一人一人が、これまで以上に他に誇れる一中生として生活できるよう、生徒会役員を中心に全員の力で一中を創造していきたいと考えます。



## 茨城県内6校が、英語の公開授業を実施しました



関東甲信地区の英語教育の充実のために、本年度茨城県内6校の小・中学校で授業公開が行われました。10月20日には文部科学省の教科調査官の参観の下、本校の2年2組の授業が公開されました。

これまで英語教育において、発信能力（話す・書く）に課題があることが指摘されています。そのため小中が連携し、児童生徒のプレゼンテーションスキルを高めることをねらいとした授業改善に取り組んできました。

複数の参観者がいる中、生徒一人一人はタブレットを用い、「外国からの留学生を招待する」ために、我が家（日本）の決まりについて画像を加えながら英語で説明したり、留学生の疑問に答えたりしました。

グローバル化した社会において必要とされるのは、コミュニケーションの手段としての「英語」です。自分の思いを伝えるために、生徒一人一人に「使える英語」が身に付くよう、支援を継続していきます。

## 「教員」を目指します！

～ 一中生の姿から、  
より夢が大きくなりました ～

将来「教員」を目指す大学生が、本校で教育実習や授業参観、職員の講話など、実際の教育現場を体感する機会が、10月は数多くありました。

大学生にとって生徒と直接関わる機会は、その後の職業選択に大きな影響を与えてと言っても過言ではありません。また、本校の職員の実体験（生の声）は、大学の授業では学ぶことのできない貴重なものです。

実習を終えた大学生、講話を聞いた大学生が異口同音に「教師の夢が大きくなった」と答えてくれました。一中生の素直な心、その生徒を精一杯サポートしている職員、それらの姿が、将来教員を目指す大学生にとって重要な指針となったようです。



## 新人体育大会 結果報告

10月26日から、水戸市及び茨城県の新人体育大会が実施されました。3年生からバトンを引き継ぎ、新チームとして迎えた公式戦、2・1年生の力を結集し、大会に臨みました。



陸上（走り幅跳び）：大部心温さん 県2位  
水泳（200m バタフライ）：和田健永さん 県7位  
男子卓球：団体6位 女子卓球：団体8位  
男子バスケ：ベスト12 女子バスケ：準優勝  
男子テニス：団体3位 バレー：ベスト8  
女子テニス：団体予戦敗退  
男子剣道：団体予選2位  
女子剣道：団体予選敗退  
サッカー：1回戦敗退  
野球：ベスト8

